

【榎本館長からのメッセージ】

先日の大雪は凄かったですね。都心だけではなく、豪雪地帯と呼ばれる地域でさえ対応に戸惑うほどの大雪！そういえば、子供の頃に祖父の家へ遊びに行くと、冬は3階の戸扉から出入りしていたのを思い出しました。日本の植物には、ある意味この寒暖は大きな変化ですが、これ以上降って欲しくない空からの贈り物です。また、この時期はインフルエンザ・風邪なども流行ります。健康管理には十分お気を付けください。

さて、2月の夢の島は毎年恒例の「熱帯豆まき」を開催。この豆まき思いのほか大人気！3日(土)、4日(日)、両日の午前と午後、計4回 行います。この機会に夢の島の「福」をしっかりつかんで、この一年を健康にお過ごしください。他にもチョコレート実演&ラン大賞の展示もあります。熱帯植物館で暖を取りながら、早い春の訪れを感じてみてください。 館長



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

夢の島熱帯植物館にはカカオの木があります。多くが結実するのでみなさまにはご好評をいただいています。2月はそのカカオにスポットをあて「夢の島カカオ&チョコレート展」を開催します。熱帯地域を原産とするカカオは世界で流通する商品作物。生産地の様子やチョコレートができるまでの工程をご紹介します。他イベントも実施しますお楽しみください。

【2月の企画展】

「夢の島カカオ&チョコレート展」(1/30~2/25)

《関連イベント》「バレンタインプリザーブドフラワー教室」(2/4)

「カカオから作るチョコレートの実演」(2/10,11) 「ちょこっとチョコプレゼント」(2/10,11,12)

《季節イベント》「新春・熱帯豆まきまつり」(2/3,4) 「ウィークエンドコンサート」(2/3,17)

「森の学校」(2/10) 「ハーブの学校」(2/4) 「ひなまつりアレンジ講習会」(2/25)

「ラン大賞作品募集受付」(1/10~2/12) 「クイズラリー2018」(2/27~3/25)

「フォトコンテスト2018・応募期間」(1/4~3/11)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

温室内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当：横平)

ホナガソウはクマツヅラ科の多年草で、高さ 1.5メートル位になり、茎の根際が木本化します。枝先に穂状花序をつけ、紫色をした 1センチほどの小花を下から上に順々と咲かせます。穂の長さは 15~50センチ位で、これが鞭に見えることから、中国では「假馬鞭」という名前がついたようです。

その中国では、全草が薬用にされ、尿路結石、リウマチや結膜炎等に利用されています。

ホナガソウは漢字で「穂長草」と書き、他にもフトボナガボソウという名前で文献に記載されていることもあります。英名は、「Blue rat's tail」で青いネズミの尾に似ているものという意味です。

原産地は熱帯アメリカで、現在では熱帯地域全体に広がっています。日本には、明治初期に持ち込まれました。

沖縄諸島、小笠原諸島で野生化していて、小笠原諸島の中でも父島に多く見られ、花期は 5~10月だそうです。当館では小笠原諸島の帰化植物として展示し、ここでは周年開花しています。



▲ ホナガソウ (全体)

(花のアップ)▶

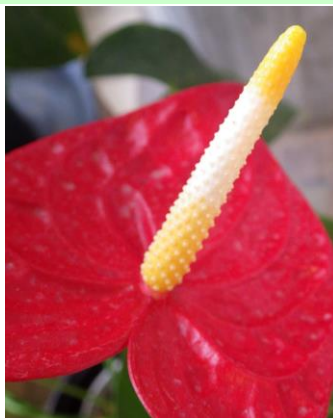
今月の花と実



▲アリスンヒメバラン



▲ヒスイカズラ



▲アンセリウム

♪ この時期の人気者 ♪

この時期、チョコレートの香りのする蘭「シャリーベビー」が大人気。アンセリウムや、ホヤなど、2月はいつもよりハート形の植物に目がいきます。

海老に似たコエビソウ、紐に似たベニヒモノキ、花卉が大きく開かないウナヅキヒメフヨウ。自然の不思議を感じさせる花々がいっぱい。ヒスイカズラもつぼみが膨らみ春が近づいています。

【サービスマン不可】
2/1~2/28
コーヒー 紅茶
一杯無料